



まちの話題



きたみ菊まつり 第60回記念企画
菊地亜美トークショー

きたみ菊まつりが閉幕

11月3日、北見市出身のタレントで、テレビなどに出演し活躍している菊地亜美さんのトークショーが行われました。司会には北見観光大使でフリーアナウンサーの安達祐子さんが担当。菊地さんは高校1年生まで北見に住んでいた生粋の北見っ子で「成人式に帰ってきた以来で、1年11ヵ月ぶり」と久しぶりの帰省に嬉しさいっぱいの様子。学生時代のエピソードの話やクイズをして、集まった人たちに笑顔を振りまいていました。今年の菊まつりは昨年より約2,000人多い、34,520人の来場者がありました。



ふるさと芸術祭

芸術の秋を堪能

10月30日から6日間、常呂町多目的研修センターで、文化団体やサークルによる作品展示と舞台発表が行われました。会場には習字や写真、陶器などの力作が多数展示されたほか、3日には「文化の秋広場」と題してお茶会やフリーマーケットなどが行われました。

夜に行われた舞台発表では、ピアノ演奏やダンスなど5団体が参加し、日ごろの練習成果を披露。会場を訪れた市民から大きな声援を受けていました。



平成24年度
留辺蘂町文化祭芸術発表会

1年間の研さん一堂に

11月3日文化の日に、自治区内の各文化団体が一堂に集い、留辺蘂町文化祭芸術発表会が留辺蘂町公民館で開かれました。

文化連盟所属の20団体が民謡や踊りなどを披露し、会場を埋めた300人の観衆から盛んな拍手を浴びていました。また、各サークルが制作した生花や陶芸、絵画なども展示され、訪れた市民の関心を集めていました。



温泉街再生に向けたシンポジウム

おんねゆ温泉街の活性化に向けて

おんねゆ温泉「山の水族館」を核とした地域再生シンポジウムが11月2日、温根湯温泉福祉センターで開かれました。

水族館プロデューサーの中村元さんと北海道大学観光学高等研究センター教授の敷田麻実さんが、山の水族館の持続的な集客と地域の活性化をどう結びつけるかについて「地域の人たち自らがどれだけ参画できるかが鍵」と講演。集まった120人の市民が熱心に耳を傾けていました。



JAとこほり収穫“菜”

秋の味覚を楽しむ

10月27日、常呂町スポーツセンター前の百年広場で、JAとこほり収穫“菜”が開催されました。会場では、主催者のJAとこほりによる新鮮な野菜や畜産物の販売のほか、常呂漁業協同組合の海産物や、岐阜県大野町特産の富有柿の販売もあり、秋の味覚を求め大勢の市民でにぎわいました。



第8回端野農業物産フェア

秋の収穫祭に大盛況

10月14日、端野農業物産展がJAきたみらい端野地区事務所特設会場で開かれました。今年は、晴天に恵まれ、安い商品に人だかりができていました。また、宮城県丸森町から19人が来北し、特産品を販売。端野町姉妹都市交流協会からも野武士軍団!?がかけつけ、大きな声で販売をサポート。午前中には完売するなど過去最高の売り上げを達成しました。



北登シソ蒸留施設フル稼働

薄荷に代わる香りの創造

北登地区にある薄荷の蒸留施設は昭和42年に建設され、現在はシソの蒸留施設として利用されています。今年も16戸（川向3、二区2、豊北11）の農家がシソ作りに励み、10月25日～11月4日にかけて共同による蒸留作業を行いました。生産活動としての蒸留が行われているのは、この北登集落のみとなりましたが、蒸留技術はいまも継承されています。